

速力試験

名前 ()

☆速力試験とは

船が主機出力に対して出しうる速力と燃料消費量との関係を実証するために造船所が建造した船の船主に対して行う公試運転の一つである。

☆試験状態

- ①速力試験の時の主機出力は、2/4， 3/4， 4/4， 11/10（過負荷）とし、海面状態がよければ出力 1/4 を追加する。
- ②船の喫水は満載状態が望ましい。
- ③試験水面は十分に広く静穏で潮流の影響が弱く、船舶の交通量の少ないところがよい。水深は船体抵抗に影響しない程度の深さが必要である。

☆試験の種類

(1) 標柱間速力試験

試験コースの始めと終わりにコースと直交する見通し線を決め、その標柱間を走る所要時間から船速を求める。

(2) 流木試験（投板試験）

船から木または板を流し、船首から船尾まで当該物が流れるのにかかった時間から船速を求める。

(3) 高精度のGPS測位システムによる方法

精度の高い船位の追跡から船速を計測する方法。

☆流木試験（投板試験）

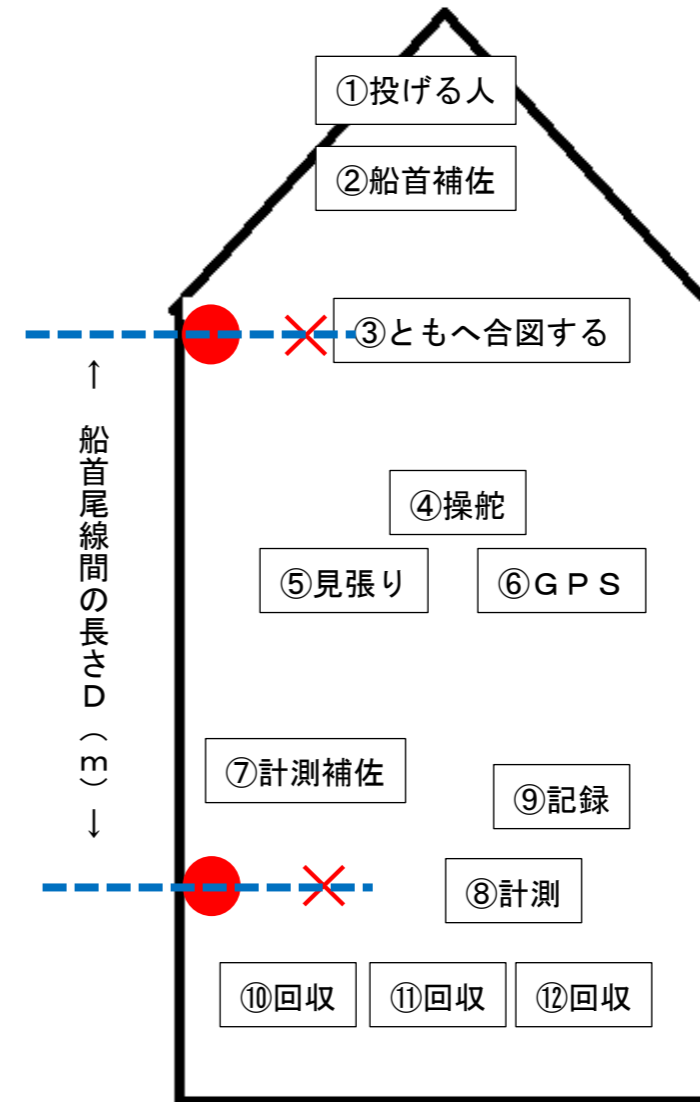
(1) 手順

- ①風下舷の船首端から投板をできるだけ船から離して水面に投げる。
- ②船首尾部2カ所に設けた船幅方向の見通し線間を投板が通過する時間 t (sec) を計測する。
- ③船首尾線上の見通し線間の長さ D (m) から速力 V (ノット) を下式で求める。

$V =$

- ①～③をそれぞれの主機出力（微速前進、回転、回転）&反方位のコースで3回ずつ行う。（一つの速力で6回試験を行うことになる）

(2) 配置



[記録メモ]

記入表

氏名 ()

日付	風向	風速
場所 浜田沖	海況	
見通し線間長さ (D)		m

回転数	タイム (秒)	平均タイム (秒) t	線間長さ (m) D	$D/t \times 1.9438$ = 速力 (ノット)	GPS 平均
微速前進	往平均				
	復平均				
回転	往平均				
	復平均				
回転	往平均				
	復平均				